

城下町岩槻

鷹狩り行列



『將軍、岩槻にて茶を召す』の巻

城下町岩槻鷹狩り行列実行委員会



お待ち
申し上げて
おりました。



江戸殿の
到着で
ございます。

目付



なぜ、お疲れ遊ばれた
でございませう。
この岩槻にて、この
鷹狩、お賞さいただ
きでございます。



鷹狩りは見事な成果を
上げられたご様子。
お喜び申し上げます。



ぬ。
江戸殿には、この
岩槻のお狩場が
お気に召されて
おります。ゆえ、
光栄でございます。



忠房殿、大儀であつた。
見事な収獲じゃ。
礼を言つぞ。



うむ。



まずは、
浄国寺の清水で
淹れたお茶で
御くつろぎの
ほどを……。



將軍家康公は鷹狩りの際は、きまつて岩槻の浄国寺に立ち寄りられたと申します。

浄国寺境内には御茶ノ水と称する清らかな井戸水があり、その水で淹れた茶の味は格別であったと申します。

以来、家康公は鷹狩りの際はもとより、日光社参の折りにも、ここ岩槻の城にお泊りになられ、この水を献ずることが習わしとなつていと申します。







「岩槻黒奴」とは当地の誇る伝統文化のひとつで、一時途絶えていたものを数年前に復活させた貴重なものでございます。

岩槻黒奴の奴振りは今や天下にその名を轟かせておりますが、これも、岩槻黒奴保存会の皆様の並々ならぬ御努力があったればこそでございます。



忠房殿、
岩槻黒奴の奴振り
見事であった。



♪～♪～♪～♪～



姫、
グッジョブ
じゃ！



重ね重ね、
身に余る光栄で
ございます。



ドドン！！



ハハハ！！



やったね♡